

資料1

令和3年8月5日
第1回放送番組審議会資料
情報連携推進課

FTTH化整備工事の進捗状況について

遠野市情報連携推進課

1 事業の概要

1 整備の目的

近年頻発する自然災害時の情報伝達手段や新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」を実践するための情報ネットワーク網を整備することにより、高度情報化社会に対応した情報の提供・発信機能の強靱化・充実に図り、市民に対し安心・安全を提供する。

2 整備の基本方針

通信データの高速・大容量化と安定した放送環境の整備

- 1 幹線伝送路の冗長（多重）化による、障害発生時の対策強化
- 2 サブセンタ設置による伝送速度の確保（伝送路延長20kmを超える地域の対応）

3 整備の概要

1 局舎整備

- (1) 遠野テレビ内の光通信用装置、放送設備（アンプ等）、監視制御装置の更新
- (2) サブセンタ4箇所（綾織、附馬牛、土淵、上郷）の新設（伝送路20km超地域）

2 伝送路

- (1) 光ファイバケーブルの整備 延長550km（うち、宮守エリアの通信用伝送路追加70Km）
- (2) 既存HFC伝送路の撤去 延長520km

3 宅内設備

光化対応機器への宅内設備の更新

TV加入全世帯⇒住宅 6,800世帯、事業所 500所 計7,300戸

1 事業の概要

4 FTTH化による効果

- 通信速度の高速化・大容量化が図られるとともに、幹線を冗長化することにより、災害時等においても、通信及び放送を遮断することなく、安定したサービス環境が整うことから、市民に対する安心・安全な環境の提供が可能となる。

<新型コロナウイルス感染症に対応する「新しい日常・新しい生活様式」の実践>

- 児童生徒の学習機会を確保するオンライン学習環境の整備
- テレワーク環境整備による交流人口、移住定住の推進
- 高速大容量通信環境による、企業誘致の促進

<新しい放送への展開>

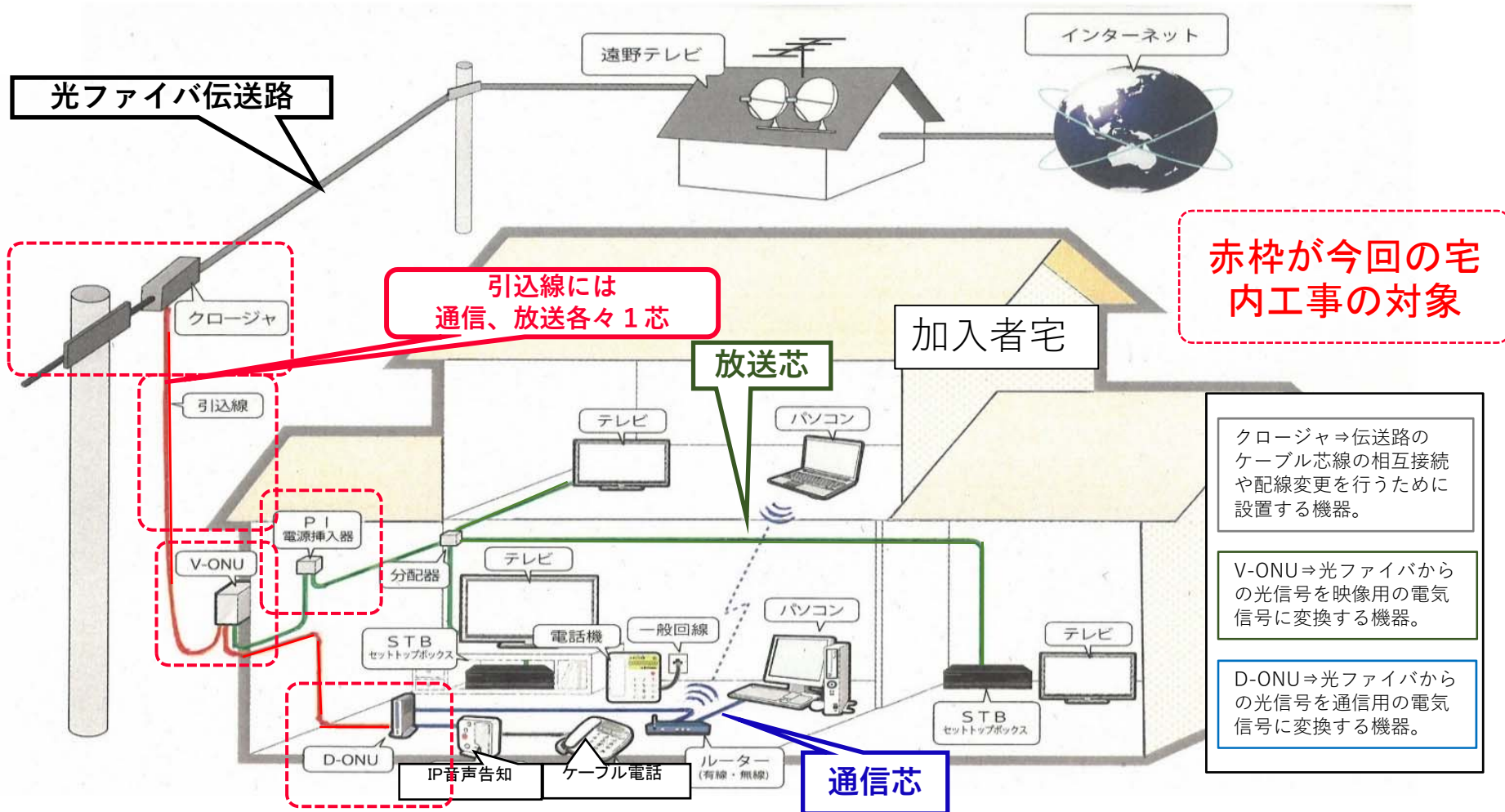
- パススルーによるBS4K・8K放送、多様化するIP放送への可能性が広がる。

<スマート社会実現への基盤>

- 将来的にはローカル5Gによる、スマート農業やセンサーによる災害情報の収集など
⇒スマート社会の実現に向けた基盤となる。

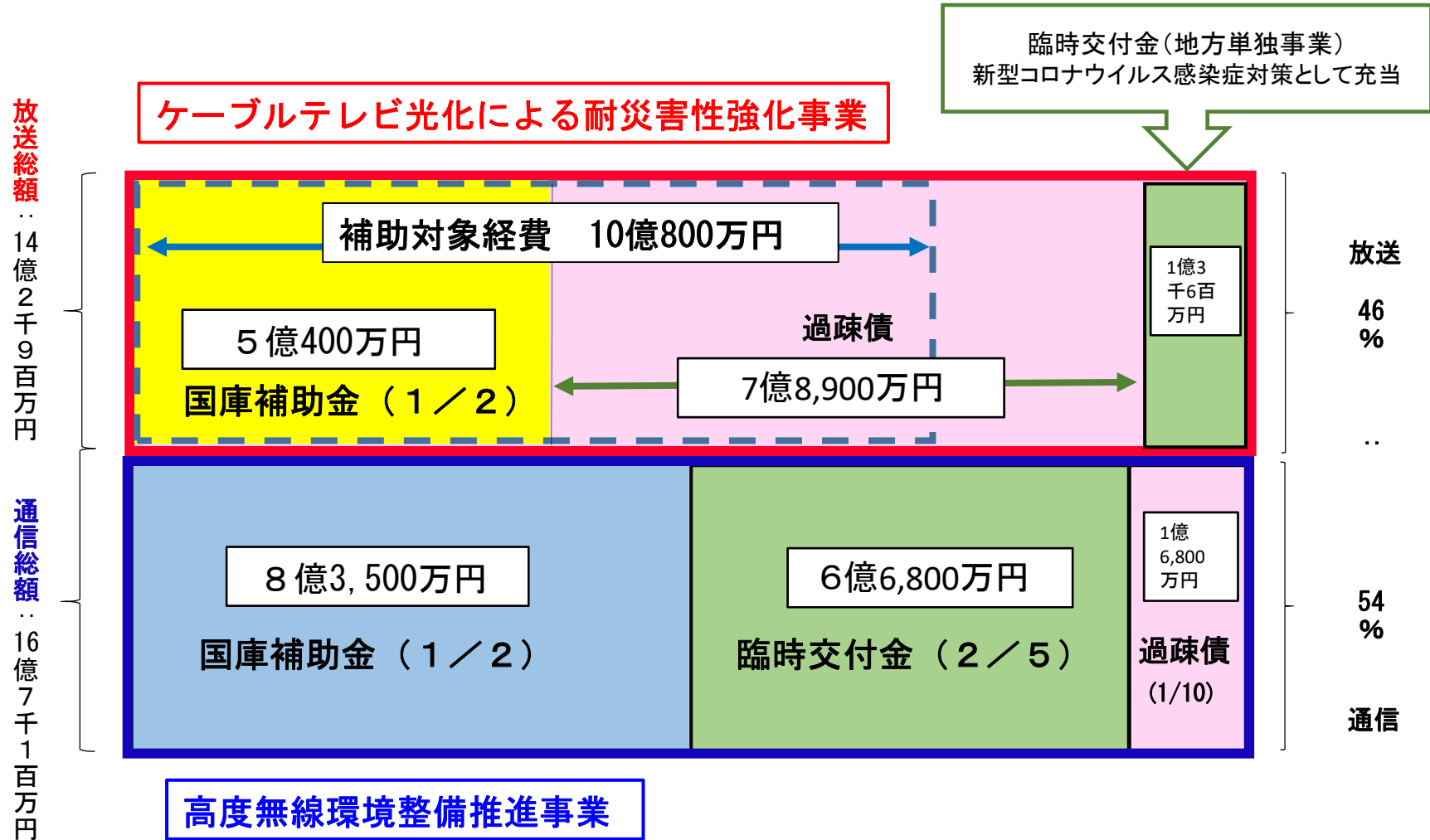
2 宅内工事の概要

FTTH (Fiber To The Home)とは、遠野テレビから光ファイバ伝送路を加入者宅に直接引き込む方式のことを言います。宅内工事では、光回線を引き込むために必要な機器の更新を行います。



3 財源内訳（当初契約額）

総事業費 31億円（施工監理委託費含む）



4 工事進捗状況

1 請負者 株式会社協和エクシオ東北支店（宮城県仙台市）

2 工期 令和3年3月29日から令和4年3月14日

3 主要工程

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	1月	2月	3月
遠野テレビ局舎改修		■								
光ケーブル敷設	■									
サブセンタ工事	■									
引込・宅内工事				■						
同軸ケーブル撤去工事						■				

4 進捗状況

光ケーブル敷設（市内全域で施工中） 190km/550km（進捗率35%）

※ 7/31時点の実績。敷設工事は11班体制で施工中。

4 工事進捗状況



光ファイバケーブル設置作業



光ファイバケーブル接続用クロージャー内部



遠野テレビ内機器設置用ラック



サブセンター基礎工事(上郷)